



## 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムを開催

1月30日（土曜）、多くの動植物が生息できるような潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を目指す善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムが勤労福祉会館（桃井4丁目3番2号）で開催されます。シンポジウムでは、有識者による基調講演やパネルディスカッションなどを通じて、動物・植物にやさしい水辺環境の創出・再生について考えていきます。

善福寺川は、都立善福寺公園内の池を水源に杉並区のほぼ中央を北西から南東に流れる全長10.5kmの区を代表する一級河川です。善福寺川は、豊かな緑に囲まれた自然環境から、かつては数多くの動植物が生息していました。しかし、都市化により、水田や湿地は姿を消し、大雨による浸水被害に対応するための護岸整備や合流式下水道による下水の流入などにより、見られる動植物が減少していました。

そこで、区は善福寺川に棲む「水鳥」に着目し、多くの生き物が生息できるような潤いと安らぎのある水辺を創出・再生しようと平成20年度からこの事業を行っています。平成26年2月には、「動植物に配慮した河川整備の推進」や「合流式下水道」の改善などの取り組みを挙げた行動方針を作成し、さらなる水辺環境の改善を目指しています。



今年度の調査の様子

今月16日には、区内小学生とその保護者が水鳥の生息状況を調べる一斉調査を実施しました。8回目となる今年は、14校の児童124名、保護者104名、過去最高の合計228名の方が参加。調査中、大人も子供も目を凝らして水鳥を探し、見つかると熱心にその様子を観察していました。調査の結果、今年は、オナガガモ、カルガモ、カワセミ、オオタカ、ユリカモメなども確認できました。

30日に行われるシンポジウムでは、一斉調査の結果を発表するとともに、「杉並のいきもの～過去・現在・未来～」と題した基調講演や大学教授を招いてのパネルディスカッションなどを通して、区民とともに動植物と共生できる環境づくりを探ります。

さらに、井荻小学校の児童たちによる「善福寺川の現状と私たちの夢」と題する活動報告があり、善福寺公園の中にある上池と下池を結ぶ「(仮称) みんなの夢水路」に関する発表も行われます。「(仮称) みんなの夢水路」とは、平成26年7月に井荻小学校の5・6年生が区長のもとを訪れて、善福寺川をもっときれいな川にしたい、という思いを伝えたことから始まった整備事業で、水辺環境の創出・再生にもつながる取り組みです。この水路は、多くの住民の意見を参考にしながら、29年度に整備を行う予定です。

### 【問い合わせ先】

都市整備部土木計画課 03-3312-2111

総務部広報課 03-3312-2111